

## 円空ゆかりの 地で「場踊り」



県の芸術賞「円空大賞」で円空賞を受賞したダンサーの田中泯さんが、円空物語と題した3部作の最後に、ゆかりの地である弥勒寺跡（池尻）で「場踊り」の公演をしました。雨の中、田中さんは竹やぶ

の中から丸太を抱えて現れると、遺跡内を縦横無尽に動き、踊りました。礎石にピタリと丸太を立てた場面は、「場踊り」ならではの即興性を感じさせ、観客はあらためて喜びや感動を覚えました。

# あんな事、こんな事

関市イメージキャラクター  
「関\*はもみん」



## 本物さながら生徒会選挙

近い将来、選挙権を有する若い世代に、選挙に対して関心を高めてもらおうと、実際の選挙で使用される投票箱、投票記載台などを使用した生徒会選挙が武儀中学校で行われました。体育館に集まった生徒は、立候補者の立会演説を聞き、活発に質問や意見などを出しました。投票箱が空であることを確認し投票開始。係から投票用紙をもらい、記載台で信任する候補者に○をつけ、緊張した様子で投票箱に投函しました。

## 放射線災害で連携協定へ

市は、市内で放射線災害が発生した場合に専門家から助言を受ける体制確立などを図るため、岐阜医療科学大学（市平賀）と支援協定を締結しました。同大学は放射線学科があり、放射線災害に対する防除・軽減や住民の避難などの計画の策定、放射線の計測、安全確保に関して助言や指導の協力をするものです。市民の関心の高い放射線災害について、専門的知識を有する地元の教育機関との連携で、万が一に備えます。





## 郷土の自然にふれあい地域貢献

ふるさと教育の推進に尽力し、活動を実践した学校に贈られる県の「ふるさと教育表彰」推進賞を板取中学校が受賞しました。故郷板取を「守る、関わる、貢献する」をテーマに、生徒が地域の自然環境や地場産産を体験的に学んだり、地域が抱える過疎化や高齢化問題の解決策を考えて取り組みました。中学校体育祭と地域の運動会を合同で開催するなど、地域の誇りを高めるために考えた取り組みが評価されました。

## 市民が主役のまちづくり

地域の活性化や地域課題の解決に取り組む NPO 法人や市民活動団体に対し交付される「関市きらめき・いきいき市民活動助成金」を受けた 7 団体が、1 年間の取り組みの成果を発表しました。昔遊びを教える活動や若者を中心としたコンサートの企画運営など、取り組みはさまざま。発表後、参加者による今後応援したい活動団体への投票があり、「関善光寺癒しの会」が 1 位に選ばれました。



## 「見守り」に感謝の気持ちを表して

倉知小学校で、学校ボランティアの会員に日ごろの見守りなどに対しお礼の気持ちを伝える「ボランティア感謝の会」が開かれ、全校児童が合唱などを披露しました。学校ボランティアは、学校評議員、民生児童委員など 100 人以上の登録があり、登下校の見守りのほか、倉知太鼓や菊の栽培の指導などをされています。会では、歌のほかに手づくりクッキーや育てた大豆などをプレゼントして、感謝の心を伝えました。

## 元気よく「火の用心」

春の全国火災予防運動にあわせて、武芸川幼稚園の園児 55 人がおそろいの法被姿でパレードし、地域住民に火の用心を呼びかけました。園児たちは、消防署の広報車に先導され、拍子木を打ち鳴らしながら、武芸川事務所までの約 1 キロを元気よく歩き、「火遊びは絶対しません」「火事を見たら大声で知らせる」と全員大きな声で誓いを立てていました。



## こぼれ話



100 歳と聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか? 「高齢者」や「介護」という言葉を思い浮かべる方もいらっしゃると思います。でも、私が思うのは「元気!!」です。

関市では、100 歳の長寿を迎えた市民の方を市長が直接訪問し、お祝いをしています。私も訪問に同行させていただくのですが、皆さん本当にお元気な方ばかり。本来、こちらが訪問させていただく所ですが、逆に市役所まで来庁された方もおり驚きました!

取材させていただくと、どの方も「食べ物好き嫌い無

く食べて、何事にも勉強熱心で、よく働き、よく運動すること」が長寿の秘訣とおっしゃられます。ご自身で話すことが困難な方でも、ご家族から話をお聞きますとやっぱり同様に話されます。私もこの長寿の秘訣を実践して生活していきたいですが、なかなか難しそうです(笑)

ちなみに年数の話というと、関市は今年市制 62 周年。また、現在皆さんお読みの「広報せき」は今回で通算 1605 号になり、4 年間同じ様式で発行しています。そこで、ちょっとお知らせ。次号(4月15日号)からデザインが変わります!!ぜひ、新「広報せき」を期待してくださいね♪